認知機能低下予防促進のための地域共通ものさし

あたまの健康チェック®

DX
地方自治体
保健・予防
事業

最新情報
PHRリアルタイム連携

豊富な全国運用実績

共通指標で安心の地域連携

検者支援クラウドシステム

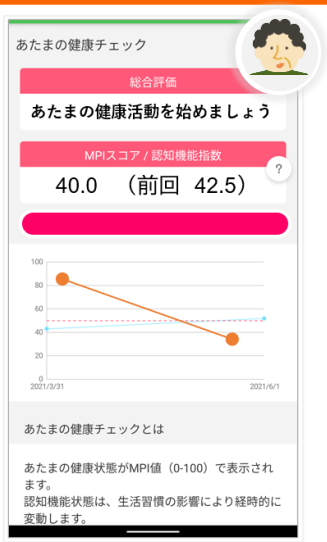
全国の運用事例から最適なアドバイスを提案
民間最古参：安心と充実のスタートアップ支援体制

自分を知らずして予防意識は芽生えない
効果の見えない予防は続かない

保健・予防事業の一体的実施を支援

「あたまの健康」の見える化をＤＸ

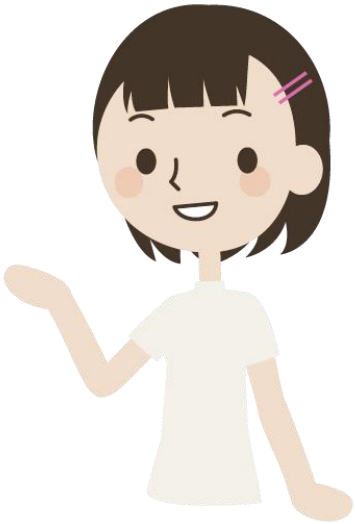
健康データが、家族と繋がる、地域と繋がる



- DXでペーパーレス運用
- 行政・市民の利便向上
- 検査結果をお手元で
  リアルタイム閲覧
- 家族やかかりつけ医と
  いつでも**簡単共有**
- 医療機関で使える
  便利機能を多数搭載

地域のものさし： 選ばれる納得のポイント

- **若年層から対応、予防対象の健常群における経時的・定量的な評価に最適**
  中年期、健常な頃からの状態把握が予防意欲の創出、維持に寄与
- **職能問わず高精度評価： 人口統計額客観評価法**
  だれでも実施可能なため今後の資格職の働き方改革にも寄与
- **クラウド型 ＆ PHR連携でポピュレーションアプロー対応**
  お手元の端末、ネットから簡単アクセス＆PHRを通じ市民へアウトリーチ
- **高い評価と実績： 全国自治体、健診での採用多数**
  全国自治体の保健・予防事業での採用事例多数
- **地域医療との連携実績　多数**
  地域包括ケアシステムにおいて、「保健・予防」と「医療」とは常に
  1つの帯として捉えられています
  あたまの健康チェック®の社会実装事例については、営業担当者へお気軽にお問合せください



認知機能スケールとして初めて神奈川県 ME-BYO ブランド認定サービスです

どんな内容のチェック？

対面・リモート： 様々な運用に対応

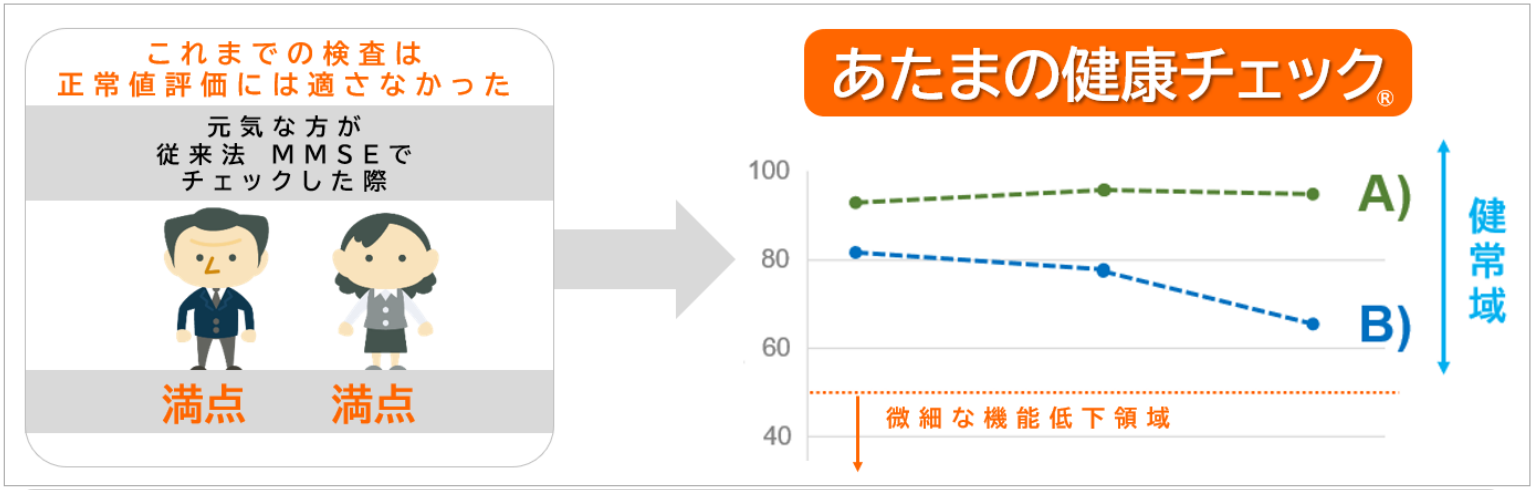
- ✓ 対話式で行う近似記憶テスト（ADAS-COG Memory）
- ✓ 10の単語を記憶し思い出す
- ✓ 同じ作業を数回繰り返し行います
- ✓ 性別、年齢、学習経験年数を自動ウエイトし統計評価

※ 従来の認知症の有無を確認する検査とは異なります
※ 中年期、健常域が受けられる初めての安定スケール
※ 反復検査による学習効果、天井効果の懸念無し

電話でも

対面でも

市民ニーズは、健域における経時的な状態観察に



もの忘れの訴えの無い頃からの「あたまの健康」定期チェックは

予防への関心や意欲の創出のキッカケに

自治体　保健・予防事業　担当者様からの声

- 対面の必要もなく電話等リモートでも認知機能評価ができる
- 誰が担当しても安定した評価が行える安心感があり、保健指導の指標としている
- 市民の関心が高い領域であり友人同士でチェックを希望される方が多い
- 「認知症か否か」の評価ではない点が、市民と現場スタッフに安心感を与えている
- 本チェックが初めて保健・予防事業に参加する機会となる市民が多く
  チェック後は予防に対する市民の関心や意欲が高まりやすい
- 地域の先生方からも連携に対して理解や協力が得られやすくなった
- 数値が低い方を医療機関へ紹介した際、連携先でもあたまの健康チェック®が
  共通値として認識されており連携がスムーズであった
- 健康無関心層の市民が多数、予防事業参加や相談訪問に訪れるようになった

安心と充実のスタートアップ支援体制

ご契約後には、説明会・勉強会の開催はもちろんのこと
以下のように様々な支援体制を無償で提供いたします

- サイネージ・ウェブ用コンテンツ
- 市民向け広報チラシ
- アンケートひな形
- メディア向けリリース配信
- 予防指導箋

簡易認知機能スケール

あたまの健康チェック®

PHR連携 ＆ 地域DX ＆ 広報支援
安心のスタートアップもおまかせください

あたまの健康チェック®は、信頼性と妥当性が確保された代表的な認知機能検査であり研究、臨床、保健活動において広く用いられている。特筆すべきは健常者を対象とした機能評価において高い精度が報告されており、これは現状で一般的に実施される各種認知機能検査より高精度であるといえる。

本スケールは、地域保健活動における潜在的な認知機能低下リスク群の把握、経時的な状態把握を通じた予防意欲促進、そして、定量的な予防活動の効果計測に有益であり広く活用されることが望まれる。検査を広く実施するためには、多様な状況下での実施可能性の高さが求められるがこの点においても本スケールは利点を持ち、短時間で専門職でない検者でも実施可能であり地域保健活動でも十分導入可能であり、介護・フレイル予防の為のスクリーニングとして有用であると考えられ今後のさらなる展開に期待したい。

監修： 国立長寿医療研究センター（NCGG）老年学・社会科学研究センター
センター長　島田 裕之 先生

北里大学大学院博士課程を修了（リハビリテーション医学）。東京都老人総合研究所研究員、Prince of Wales Medical Research Institute（Sydney, Australia）客員研究員、日本学術振興会特別研究員、東京都健康長寿医療センター研究所を経て、現在は国立長寿医療研究センターに所属。 2019年より老年学・社会科学研究センター長。名古屋大学、信州大学大学院の客員教授を併任。
専門領域は、老年学、リハビリテーション医学。
認知症予防や寝たきり予防を目指した高齢者の健康増進のための効果的なプログラムの作成と効果検証を実践。近年では、日本医療研究開発機構や厚生労働省の研究班の代表研究者を複数務め、平成24年度介護保険制度改訂にともなう認知症予防プログラムの改訂、サルコペニアの定義に関する提言等に関与。

私たちが、ご契約から運用開始までを丁寧にサポート致します
社会実装例のご紹介、視察希望はご相談ください

セントケア・グループ <2374>
株式会社ミレニア
105-0021 東京都港区東新橋2-18-3

簡易認知機能スケール
あたまの健康チェック®

ご状況に合わせ電話やメール、オンライン会議等のリモート対応にも対応いたします

あたまの健康チェック®ウェブサイト
https://www.millennia-corporation.jp/ninchi/mci/

03-5408-7770
お問合わせ・ご導入相談はこちら
info@millennia-corporation.jp